

分野	基礎分野		授業科目	心理学	
受講学年	1学年 / 前期		単位/時間数	1単位 / 30時間	
担当者資格	校外心理学講師		専門経験有無	有	
学習目標	1. 心理学の基礎理論を理解する。 2. 心と行動のメカニズムを生活行動と結びつけ、理解する。 3. 自己理解、他者理解ができる。 4. カウンセリングの基礎技法を身につける。				
回数	学習課題	学習内容	方法	自己学習の指針	
1	パーソナリティ	類型論、特性論の理解	講義		
2	心理アセスメント1	質問紙法、ビックファイブ仮説	テスト		
3	心理アセスメント2	投影法、風景構成法、 ロールシャッハ・テスト			
4	ストレスとコーピング	ストレスのメカニズム、SRRS	講義		
5	適応と防衛	精神分析、防衛機制	講義		
6	人間の発達	認知・思考の発達 情動・社会性の発達 対人関係の発達	講義		
7	葛藤と フラストレーション	葛藤の種類、リラクゼーション ソーシャルサポート	講義		
8	学習と行動1	古典的条件づけ、恐怖症	講義		
9	学習と行動2	オペラント条件づけ、回避行動	講義		
10	認知行動療法	うつと認知療法、恐怖症とモデリング	講義		
11	知能と発達障害	知能、IQ、検査、留意点、発達障害	講義		
12	カウンセリング1	ロジャーズ、自己理論、 カウンセラーの条件	講義		
13	カウンセリング2	面接法によるパーソナリティ理解 家族面接	演習		
14	集団精神療法	エンカウンターグループ・SST	講義		
15	まとめ 試験	心理学と人間理解	講義		
評価方法	筆記試験				
テキスト					
参考図書 文献	レポートに関する参考図書を講義中、指示する				
備考					

分野	基礎分野	授業科目	看護のための教育学	
受講学年	1学年 / 前期	単位/時間数	1単位 / 30時間	
担当者資格	校外教育学講師	専門経験有無	無	
学習目標	①教育の原理を基盤として、人間形成における教育の機能について理解を深める。 ②望ましい人間形成のあり方、人間の可能性を引き出すための教育の方法を学習し、看護における教育的機能の重要性を考える。 ③主体的に学習する基盤とする。 ④教育学に関する基礎的知識を習得するとともに、現代教育改革の諸動向と論争点を読み解く実践的な資質を修得する。 ⑤「看護」と「教育」との共通点・相違点を考える。			
回数	学習課題	学習内容	方法	自己学習の指針
1	人間の成長と教育	①人間の成長と教育の影響、②ヒトとモノの違い、③人間と環境、④教育の種類と構造	講義	①授業時に配布予定のレジュメ(ハンドアウト)を予習すること。 ②授業は連続性の中で行われるため、授業後は復習を行い、次の授業に備えること
2	家庭・社会と教育	①家庭教育、②社会教育	講義	
3	現代の教育問題	①不登校、②暴力行為、③いじめ、④体罰など	講義	
4	現代の教育改革	①教育基本法の改正、②学校参加・学校選択など	講義	
5	発達理論の展開	①発達の定義・要因・段階・特徴、②フロイト理論、③ピアジェ理論、④エリクソン理論	講義	
6	発達理論の展開	①レビソソ理論、②ハヴィガースト理論、③コールバーグ理論	講義	
7	発達段階と教育	①子どもの教育(ベタゴジー理論)、②成人の教育(アンドラゴジー理論)、②高齢者の教育(ジェロゴジー理論)	講義	
8	学習理論の展開	①学習の定義(ガニエ理論など)、②学習のS-R理論(パブロフ、ソンドイク、スキナーなど)	講義	
9	学習理論の具体化	①学習条件(レディネス)、②学習意欲(効力感・有能感、コンピテンツ)、③達成動機、④動機付け、⑤達成意欲の喚起	講義	
10	学習指導の理論	①学習指導の意義、②授業の意味と構造、③学習指導の種類、④学習指導の原理	講義	
11	学習指導の方法と評価	①教育工学の発達と授業の革新(e-learningの普及と課題)	講義	
12	自己実現とその方法	①自己開示(ジョハリの窓)、②自己実現(マズロー理論)、③エンパワメント(ギブソン理論)、④自己効力(バンデューラ理論)	講義	
13	生涯学習の意味と構造	①生涯学習の意味・内容・方法、②自己教育の意味と構造、③自己教育による生涯学習の実践	講義	
14	障害教育の理論と実践	①障害者の理解と教育、②障害者との共生社会	講義	
15	看護教育の理論と実践	①看護教育の意味・本質・目的、②看護教育の課題と展望	講義	
16	まとめ			
評価方法	授業中の発言や態度、毎授業時に提出してもらう「リアクションペーパー」等の平常点(5割)、学期末レポート(5割)などから総合的に評価する。			
テキスト	特になし			
参考図書文献	毎授業時に参考図書文献を紹介する。			
備考	①授業は教員による「講義」を基本とする。②グループ単位でのディスカッションなどを行うため、積極的に発言するなど、主体的に授業に参加することを望む。			

分野	基礎分野	授業科目	看護のための社会学	
受講学年	1学年 / 前期	単位/時間数	1単位 / 30時間	
担当者資格	大学教授、看護師	専門経験有無	有	
学習目標	<p>本授業の目標は、受講生が社会的なものを見方を習得することにあります。とくに医療を対象とする社会学の観点から、組織構造・役割関係・価値体系・儀礼・行動システムに関する理解を深めます。</p> <p>保健・医療をとりまく諸問題を社会・文化的観点から考察します。</p> <p>社会的存在としての人間及び人間生活のあり方を理解することによって、看護の場に臨んで広い視野から行動できる能力を身につける。さらに家族看護論について理解する</p>			
回数	学習課題	学習内容	方法	自己学習の指針
1	意味づけとしての病	社会学の視点からみた病の経験	講義	
2	病者と患者	病人役割・病気行動		
3	スティグマ	「烙印」としての病		
4	医療施設	病院の成立から在宅ケアまで		
5	精神医療の歴史	全制的施設という捉え方		
6	医療化論	同性愛・ADHD		
7	感情労働	感情労働としての看護		
8	近代家族の定義	近代家族の定義と役割		
9	現代家族の諸問題	変化する家族と諸問題		
10	保健医療と家族	インフォーマルケア		
11	看護学における家族の理解	<ol style="list-style-type: none"> 1. 看護における家族の概念 2. 家族の健康の概念 3. 家族を理解するための諸理論 		
12	家族看護過程	<ol style="list-style-type: none"> 1. 家族看護アセスメント・家族看護診断 2. 家族看護計画・家族アセスメントモデルの概要 3. 家族看護方法・家族看護評価 		
13	家族看護における看護者の役割と援助姿勢	<ol style="list-style-type: none"> 1. 家族看護における看護者の役割 2. 家族を援助する時の援助姿勢 		
14	家族看護の実践	乳児・精神障害者・高齢者、終末期に関する家族援助 救急医療・集中治療の場における家族看護		
15	試験			
評価方法	小レポートと試験で評価します			
	中川輝彦・黒田浩一郎編『よくわかる医療社会学』ミネルヴァ書房			
参考図書文献				
備考				

分野	基礎分野	授業科目	看護のための論理学	
受講学年	1学年 / 前期	単位/時間数	1単位 / 30時間	
担当者資格	校外教育学講師	専門経験有無	無	
学習目標	論理的・合理的で規準に沿った思考であるクリティカル・シンキング(批判的思考)の基礎を学び、看護に必要となる適切な問題解決力と情報表現力を身につけていく。前半では、思い込みにとらわれずに多面的・内省的に考える思考力を向上させ、後半では論理にもとづいて文章や口頭でわかりやすく情報を伝えるための表現力を向上させる。			
回数	学習課題	学習内容	方法	自己学習の指針
1	クリティカルシンキングを学ぼう	看護の現場でさまざまな情報を的確に判断できるようになるためのクリティカル・シンキングの基本的事項を理解する	講義	基本事項を復習・確認する。
2	論理的思考の失敗について実例を知る	論理的規準と人の思考の相違点を理解し、このギャップがどのような思考の錯誤を起こすか理解する。	講義	因果と共変の違いについて復習・確認する。
3	論理的誤謬と認知バイアスを知る	医療の現場で起こりうる因果関係の錯誤について、典型的な「前後論法」の誤謬から理解する。	講義	前後論法の錯誤のメカニズムを理解し、実例を挙げられるようにする。
4	人の情報処理バイアスを克服する	さまざまな誤謬や錯誤を招く認知情報処理のバイアスについて理解する。	講義	確証バイアスのメカニズムを理解し、その実例を挙げられるようにする。
5	直観的思考とヒューリスティック	直観的思考のメカニズムをもとに、そこで陥る推論の失敗と、その克服法を理解する。	講義	ヒューリスティックによる錯誤を理解し、その実例を挙げられるようにする
6	身近な直観的思考の落とし穴	クリティカルな思考の失敗による「思い違い」について、身近な例を出しあって、グループで議論し、発表の準備をする	演習	錯誤を防ぐための適切な方策について、具体例を提案できるようにする
7	クリティカルに考えるためのまとめ	論理から逸脱した思考について、学生それぞれの実例にもとづいて発表・議論する	演習	クリティカルシンキングの観点から、錯誤や誤謬について学生どうしで考えを深める
8	わかりやすい表現 認知処理編	わかりやすい表現は認知的負荷を低くする必要がある。その工夫について例題を体験しながら習得する。	講義	身近なわかりにくい対象を、認知的負荷の観点からわかりやすく改善できる
9	わかりやすい表現 知識連携編	わかりやすい表現は、既存の知識との連携が適切に行われる必要がある。その工夫について例題を体験しながら習得する。	講義	身近なわかりにくい対象を、知識との連携の観点からわかりやすく改善できる
10	構造化とPREP。文章理解の状況モデル	わかりやすさに関するPREPや、メタ情報、構造化といった手法について、例題を体験しながら習得する。	演習	PREPの枠組を習得し、論理的で説得力のある表現ができるようにする
11	誤解を防ぐ表現	読む人の立場に立った表現を促すために、人のエラーやミスがどのように起こるかについて理解する。	講義	誤解や誤読(ヒューマンエラー)のメカニズムを理解し、これを抑制する表現ができるようにする
12	身近なわかりにくさから考える	認知工学の原則をもとに、わかりやすい表現の実例を探索する。	講義	身近な表現や環境などから、わかりにくい例を見つけ出し、改善の提案ができるようにする
13	わかりやすい表現技術の向上	わかりやすい表現を実現するための練習課題を体験し、表現技術を向上させる。	演習	実際の職務上のさまざまな局面で、わかりにくい表現を検出し、適切に改善できるようにする
14	わかりやすい表現実践	学生が見つけた「わかりやすい表現」についてスピーチし、その表現についてディスカッションを行う	演習	スピーチ・プレゼンを通して、表現力の相互評価を行う
15	わかりやすい表現のまとめ	クリティカルシンキングの基盤としてのメタ認知の概念が、思考や表現に不可欠であることを総括する	講義	メタ認知の働きについて理解し、今後の職務改善や能力向上について考える
評価方法	授業期間中に、クリティカルに考えたり、わかりやすく表現する複数の課題提出を求める。また、わかりやすい表現についてのディスカッションとショートスピーチを行う。これらの成果を総合して評価点とする。			
テキスト	特に指定しない			
参考図書文献	藤沢晃治(著)、『「分かりやすい表現」の技術』講談社ブルーバックス E.B.ゼックミスタ&J.E.ジョンソン(著)宮元他(訳)『クリティカルシンキング 入門篇』北大路書房			
備考				

分野	基礎分野	授業科目	看護情報学	
受講学年	1学年 / 後期	単位/時間数	1単位 / 30時間	
担当者資格	看護師 情報処理学校講師	専門経験有無	有	
学習目標	1. 情報の意味や意義を理解し、看護の情報処理や看護の学習に役立てる。 2. 情報のセキュリティの基礎を学び、医療現場に求められる情報セキュリティのあり方を考える。 3. 目的に応じた情報検索の方法を理解し、検索ができる。			
回数	学習課題	学習内容	方法	自己学習の指針
1,2 3,4 5,6	情報とは 情報社会の様々な脅威 情報セキュリティ読本 (IT時代の危機管理入門) 情報資産を守るには	1.IT(情報技術)に潜む危険 2.今日のセキュリティリスク 3.ウイルス被害とその対策 4.実際のセキュリティ対策 5.もっと知りたいセキュリティ技術 6.情報セキュリティ関連の法規と制度 ・セキュリティに関する法令 ・個人情報の保護、プライバシーマーク ・医療現場で何を守るべきか、どう行動したらよいか。		・社会には様々な脅威が存在しネットワーク社会も例外ではないことを認識する。 ・ネットワーク及びコンピュータに対する様々な攻撃の仕組みを理解する。 ・コンピュータウイルスも、その種類や仕組みを理解しておくことで冷静な対応が可能となる。 ・医療現場で守るものは何かを考える。
7	文献検索について理解する	・文献検索とは		文献検索をキーワードで実際に行う 医中誌・Dream II・インターネット等による実際の検索 グループワーク
8,9	文献検索演習 文献検索演習の発表	・文献検索の実際(グループワーク) ・グループワークと発表		
10,11	統計処理と検定	統計の基礎知識 1. 統計の基本概念 2. 検定の原理 3. 検定の進め方 4. 検定の実際(例にならい検定を行う)		例にならい実際に検定を行う(グループワーク) ケーススタディ発表会参加 看護観発表会参加
12	文献検索と看護研究	ケーススタディ発表会		
13,14	文献検索と看護研究	看護観発表会		
15	医療・看護データの実例	看護研究の実際 《調査研究の基礎》 1. 質問紙調査 2. 研究における論理的配慮 3. 質問紙の具体的な作り方 4. 研究デザインとデータ収集 5. 研究結果 6. 考察 7. プレゼンテーション		
評価方法	1. 出席 2. 参加・発表・レポートの総合評価			
テキスト	プリント(授業にて配布) 波多野梗子 著 系統看護学講座 専門1 基礎看護学1 看護学概論 医学書院			
参考図書文献	情報セキュリティ読本 エプソン情報専門学校 川村佐和子 ナーシンググラフィカ 基礎看護学―看護研究 2007 メディカ出版 早川和生 JJNブックス 看護研究の進め方・論文の書き方 1993 医学書院 高木廣文 JJNブックスNo.48 看護研究にいかす質問紙調査 1995 医学書院 早川和生 JJNブックスNo.20 研究分野別看護研究の進め方 1995 医学書院 佐藤淑子他編 JNNSスペシャルNo.65 看護文献・情報へのアプローチ 2000 医学書院 藤田和夫他著看護のためのパソコンで調査研究(シミュレーションで学ぶ問題点の発見から論文発表まで) 市原清志著 バイオサイエンスの統計学(正しく活用するための実践論理) 1994 南江堂 黒田裕子著 黒田裕子の看護研究(step by step) 1997 学習研究社 松木光子他編 これからの看護研究 ―基礎と応用― 2000 廣川書店			
備考				

分野	基礎分野	授業科目	人間関係基礎論	
受講学年	1学年 / 後期	単位/時間数	1単位 / 15時間	
担当者資格	看護師	専門経験有無	有	
学習目標	1.援助的人間関係という言葉の意味を理解することができる 2.コミュニケーションの基礎理論と技法を理解する 3.一人ひとりが異なる人間であることを理解し、お互いに尊重し合うことができる 4.人と人との関係には、相互に影響し合う動きがあることがわかる			
回数	学習課題	学習内容	方法	自己学習の指針
1	人間関係に関する基礎知識	社会の中での様々な人間関係 看護と人間関係について学ぶ	講義	
2	人間関係とコミュニケーション	人間関係を円滑するための方法としての コミュニケーションを理解する	講義	
3	コミュニケーションプロセス	コミュニケーションの種類とプロセスおよび 基本的な技法を理解する 一方通行・双方通行のコミュニケーションを体験する	講義 演習	
4	ノンバーバル・コミュニケーション	言葉以外のコミュニケーションの 重要性とその特徴について理解する 言葉を用いずに他者と コミュニケーションする体験を行う	講義 演習	
5-6	コミュニケーションの阻害因子	フィードバックの活用と感情の取り扱いについて、 体験を通して理解する	講義 演習	
7-8	話す・聴く・フィードバック	グループになって、話す・聴く・観察することを体験して フィードバックの大切さを理解する	演習 演習	
評価方法	演習時の参加度およびレポート。			
テキスト	特に指定しない。その都度配付する。			
参考図書文献	その都度、紹介する。			
備考	講義の後の体験学習を通して、自身のコミュニケーション・スタイルを理解することが重要です。 積極的な参加を期待しています。			

分野	基礎分野	授業科目	人権と赤十字	
受講学年	1学年 / 後期	単位/時間数	1単位 / 30時間	
担当者資格	日本赤十字社長野県支部、看護師	専門経験有無	有	
学習目標	基本的人権と赤十字の理念、組織の学びを通して人間の尊厳について理解し、看護の様々な場面で判断、行動する基盤とする			
回数	学習課題	学習内容	方法	自己学習の指針
1 2	1. 赤十字の歴史	1) 赤十字のなりたち、歴史 2) ジュネーブ条約のねらいと概要 3) 赤十字の基本原則 4) 国際人道法	講義	
3 4	2. 国際赤十字の組織とその活動	1) 赤十字国際委員会 2) 国際赤十字連盟 3) 各国赤十字社 4) 赤十字国際会議 5) 国際赤十字の活動	講義	
5 6	4. 日本赤十字社の発祥とその活動	1) 日本赤十字社の歴史 2) 日本赤十字社の組織、機構、事業、活動 3) 日本赤十字社長野県支部の事業・活動	講義	
7	5. 国際情勢と国際協力	1) 国際情勢 2) 国際協力 3) 赤十字と国際機関との関係	講義	
8	6. 人権と人道	人権と人道 1) 人権の生まれた背景 2) 憲法 基本的人権 3) 世界人権宣言 4) 赤十字の人道	講義	
9~11	7. 人権問題	日本・世界で起きている人権問題を 知る 1) ホロコースト ハンセン病 2) 新聞記事より人権問題を探し、選んだ人権問題について調べ発表する	講義 VTR GW 発表	
12~14	8. もっとクロス もっと赤十字を理解してもらうために	もっとクロス活動 1) もっとクロス活動とは 2) 対象、目的、方法を考える 3) 発表会	講義 GW 発表	
15	9. まとめ(赤十字に関連する講演等)	国内外の赤十字活動の体験者の講演等	講演 他	
評価方法	筆記試験(支部1~7回)(50%) 課題発表(8回~15回)(50%)			
テキスト	「人道」日赤のてびき 「赤十字と国際人道法」普及のためのハンドブック 日本赤十字社 「赤十字のしくみと活動」 日本赤十字社 「赤十字の基本原則」 ジャンピクテ著・井上忠男訳 東信堂			
参考図書 文献	「知っていますか?」赤十字マークの本当の意味」 「ジュネーブ条約と赤十字の基本原則」 「国際人道法普及入門」 「人道支援」 野々村忠致 集英社新書 「憲法入門」			
備考	・赤十字の動き(図書室常設 月間) ・赤十字から出しているビデオ ・日本赤十字社のホームページ、報告書(図書室の赤十字関連)			

分野	基礎分野	授業科目	外国語英会話		
受講学年	1学年 / 前期	単位/時間数	1単位 / 30時間		
担当者資格	外国語学校 AtoZ	専門経験有無	無		
学習目標	近年、国際化により多くの外国人が日本国内に滞在するようになった。それに伴い増加する英語を話す外国人の患者に対して積極的な看護ができるように、医療現場で必要な英語表現を学ぶ。また外国人講師との実習により、実践力を強化する。				
回数	学習課題	学習内容並びに方法	備考	自己学習の指針	
1	Unit1,2,3	急に英語で話しかけられた時の対応を学ぶ。 基本的な質問(出身、年齢、兄弟関係等)と答え方を覚える。 数字、住所、日付の表し方と身長や体重を聞く。			
2	Unit4	初診の患者への質問と診療科名(17個)を覚える。ロール プレイで診療申込書を作成する。			
3	Unit5	道順の尋ね方と答え方を学ぶ。院内の案内図を見ながら 患者の行きたい場所へ案内するロールプレイ。			
4	Unit6	症状の尋ね方、症状と兆候の表現(61個)を覚える。			
5	Unit6	症状の尋ね方、症状と兆候の表現(61個)を覚える。患者 の症状を聞き出すロールプレイ。			
6	Unit7	具体的な症状の尋ね方、人体各部の名称(72個)を覚 える。		コミュニケーションツールの英語 としての基本的な表現を身につ けるため、全クラスを通じて会話 練習とロールプレイに重点を置 く。 また、医療英単語は、聞いて意 味を理解でき、単語が言える段 階までの習得を目標とする。(ス ペルの習得は求めない)	
7	Unit7	具体的な症状の尋ね方、人体各部の名称(72個)を覚 える。			
8	Unit8	病気の名称(57個)、病歴の尋ね方を覚える。			
9	Unit8	病気の名称(57個)、病歴の尋ね方を覚える。 内科予診票を作成するロールプレイ。			
10	Unit9	薬の種類(29個)、服用に関する表現を覚える。			
11	Unit9	薬の種類(29個)、服用に関する表現を覚える。			
12	Unit10	検査の名称(23個)、検査の予約の取り方、時刻に関する 表現を覚える。			
13	Unit11,12	手術に関する表現を覚える。 入院患者への質問表現を覚える。			
14	総合 会話試験	全Unitの復習。 会話試験			
15	筆記試験				
テキスト	「クリスティーンのやさしい看護英会話」・・・医学書院 AtoZオリジナルのフラッシュカードおよび重要表現を修得する為のプリント(補助教材)				
評価方法	会話・筆記試験				

分野	基礎分野	授業科目	外国語医療英会話 I		
受講学年	1学年 / 後期	単位/時間数	1単位 / 30時間		
担当者資格	外国語学校 AtoZ	専門経験有無	無		
学習目標	近年、国際化により多くの外国人が日本国内に滞在するようになった。それに伴い増加する英語を話す外国人の患者に対して積極的な看護ができるように、医療現場で必要な英語表現を学ぶ。また外国人講師との実習により、実践力を強化する。				
回数	学習課題	学習内容並びに方法	備考	自己学習の指針	
1	Unit1	困った時の英語表現、診療科名(23個)病院内の職業の名称(16個)を覚える。			
2	Unit1	困った時の英語表現、診療科名(23個)病院内の職業の名称(17個)を覚える。患者の基本情報を聞き出すロールプレイ。			
3	Unit2	診療手続きに関する表現、症状(95個)、症状を尋ねる表現を学ぶ。			
4	Unit2	診療手続きに関する表現、症状(95個)、症状を尋ねる表現を学ぶ。			
5	Unit2	診療手続きに関する表現、症状(95個)、症状を尋ねる表現を学ぶ。診療申込書を作成するロールプレイ。			
6	Unit3	院内の場所や利用時間を説明する表現、備品の名称(25個)を学ぶ。		コミュニケーションツールの英語としての基本的な表現を身につけるため、全クラスを通じて会話練習とロールプレイに重点を置く。 また、医療英単語は、聞いて意味を理解でき、単語が言える段階までの習得を目標とする。(スペルの習得は求めない)	
7	Unit3	院内の場所や利用時間を説明する表現、備品の名称(25個)を学ぶ。病棟案内のロールプレイ。			
8	Unit4	家族歴、病歴の聴取に関する表現、病気の名称(33個)を学ぶ。			
9	Unit4	家族歴、病歴の聴取に関する表現、病気の名称(33個)を学ぶ。			
10	Unit4	家族歴、病歴の聴取に関する表現、病気の名称(33個)を学ぶ。病歴聴取のロールプレイ。			
11	Unit5	検査指示の表現、検査の名称(38個)を学ぶ。			
12	Unit5	検査指示の表現、検査の名称(38個)を学ぶ。			
13	医療に関する映画	今まで学んだ表現を復習し、それらが実際に使われている様子を映画を見ながら学ぶ。			
14	総合 会話試験	Unit1～5の復習。 会話試験			
15	筆記試験				
テキスト	「クリスティーナのレベルアップ看護英会話」・・・医学書院 AtoZオリジナルのフラッシュカードおよび重要表現を修得する為のプリント(補助教材)				
評価方法	会話・筆記試験				

分野	基礎分野	授業科目	外国語医療英会話Ⅱ	
受講学年	2学年 / 前期	単位/時間数	1単位 / 30時間	
担当者資格	英会話学校講師	専門経験有無	有	
学習目標	近年の、国際化により多くの外国人が日本国内に滞在するようになった。それに伴い増加する英語を話す外国人の患者に対して積極的な看護ができるように、医療現場に必要な英語表現を学ぶ。また外国人講師との実習により、実践力を強化する。			
回数	学習課題	学習内容並びに方法	備考	自己学習の指針
16	Unit6	産婦人科の外来で尋ねる表現、産婦人科に関する単語(60個)を学ぶ。		
17	Unit6	産婦人科の外来で尋ねる表現、産婦人科に関する単語(61個)を学ぶ。		
18	Unit6	産婦人科の外来で尋ねる表現、産婦人科に関する単語(62個)を学ぶ。産婦人科予診表を作成するロールプレイ。		
19	Unit7	小児科外来、予防接種に関する表現、子供がかかりやすい病気等の名称(43個)を学ぶ。		
20	Unit7	小児科外来、予防接種に関する表現、子供がかかりやすい病気等の名称(44個)を学ぶ。		
21	Unit7	小児科外来、予防接種に関する表現、子供がかかりやすい病気等の名称(45個)を学ぶ。小児科外来のロールプレイ。		
22	Unit8	手術に関する表現、手術の名称、人体器官の名称(29個)を学ぶ。		コミュニケーションツールの英語としての基本的な表現を身につけるため、全クラスを通じて会話練習とロールプレイに重点を置く。 また、医療英単語は、聞いて意味を理解でき、単語が言える段階までの習得を目標とする。 (スベルの習得は求めない)
23	Unit8	手術に関する表現、手術の名称、人体器官の名称(30個)を学ぶ。		
24	Unit8	手術に関する表現、手術の名称、人体器官の名称(31個)を学ぶ。手術の説明をするロールプレイ。		
25	Unit9	術後・日常使う表現、薬の名称(17個)と薬の使用に関する表現を学ぶ。		
26	Unit9	術後・日常使う表現、薬の名称(18個)と薬の使用に関する表現を学ぶ。看護記録のロールプレイ。		
27	Unit10	心のケア、文化や宗教に関する表現を学ぶ。		
28	Unit10	心のケア、文化や宗教に関する表現を学ぶ。入院患者の心配事に対応するロールプレイ。		
29	総合 会話試験	Unit6～10の復習。 会話試験		
30	筆記試験			
テキスト	「クリスティーンのレベルアップ看護英会話」・・・医学書院 AtoZオリジナルのフラッシュカードおよび重要表現を修得する為のプリント(補助教材)			
評価方法	会話・筆記試験			

分野	基礎分野	授業科目	外国語医療英語	
受講学年	3学年 / 前期	単位/時間数	1単位 / 30時間	
担当者資格	英会話学校講師	専門経験有無	有	
学習目標	日赤の国際救援活動に関心を寄せ、実社会での医療現場の実態を、複数の福祉専門家の意見を通して理解を深め視野を広げる。また、ネイティブに近い会話のスピードに慣れ親しむため、TOEIC教材により、リスニング力を強化する。			
回数	学習課題	学習内容並びに方法	副教材	自己学習の指針
1	Listening Part I Picture	提示された写真を見ながら、正しく描写されている英文を聞き取る力を身につける。	プリント	写真からできるだけ多くの情報をつかみ取る事を意識する。
2	The Seven fundamental Principles / Earthquake and Tunami	日本語で学習した、赤十字の基本原則を英語で振り返る。昨年の大震災で日赤が関わった事例を英文から読み取る。	プリント	大切な部分は、初めに集約されていると言う英語の特性を理解する。
3	Listening Part II Question-Response	問われた質問に的確にこたえられるよう、6つの疑問詞の内、3つを種類別に正しい答え方の練習をして、リスニング力をアップさせる。	プリント	
4	International Activities	日赤の行っている国際支援活動に理解を深める。	プリント	
5	Listening Part II Question-Response	3回目に学習した6つの疑問詞の残り、3つについてリスニング力をアップさせる為の練習をする。	プリント	英語の音からその意味を理解できるよう、積極的に沢山の語句に触れる。
6	Reading Unit1	テーマ「人間の多様性を享受する」 Accepting Diversity	プリント	
7	Listening Part III Short Conversations	短い会話を聞き、書かれてある質問に的確にこたえられるよう、できるだけ多くの語彙に触れ、正しい選択ができるよう準備する。		
8	Reading Unit1	テーマ「人間の多様性を享受する」 Accepting Diversity		
9	Listening Part III Short Conversations	7回目の授業を引き継ぎ、語彙力にとどまらず、似たような発音の単語に触れ、意味の違いを理解する。	プリント	知っている語彙や文章の流れから内容を推測し理解する事になる。
10	Reading Unit7	テーマ「一人の平和は正解の平和になる希望」 Peace Studies		
11	Listening Part IV Short Talks	様々なタイプの文章(広告・天候・広報など)を聞く事で、専門用語に触れ、知っている単語から意味を推測する経験をする。		
12	Reading Unit7	テーマ「一人の平和は正解の平和になる希望」 Peace Studies	プリント	
13	Listening Part IV Short Talks	11回目の授業を引き継ぎ、色々なパターンの文章になれる。		
14	Reading Unit10	テーマ「発展途上の教育」 Night School in Kathmandu	プリント	
15	前期試験	ハイレベルなリスニング問題に挑戦し、また医療を取り巻く社会状況について考える。		
評価方法	筆記試験			
テキスト	Longman (Preparation Series for the TOEIC test) Living in Society: From People to Persons 日赤広報 英語版			
参考図書 文献				
備考	リスニングは、各単元の最後には、ミニテストを導入し、講義を受けた後に聞き取りやすくなっている事を実感できるように組み立てられています。 リーディングに関しては、自分はどう思うかという視点で、問題意識を持って学習していくことを求めています。			

分野	基礎分野	授業科目	手話	
受講学年	2学年 / 前期	単位/時間数	1単位 / 30時間	
担当者資格	手話通訳士	専門経験有無	有	
学習目標	1. 聴覚障害と聴覚障害者を総合的に理解する。 2. 言語としての手話の、基礎的な表現を習得する。 3. 聴覚障害者とのコミュニケーションについて理解を深める			
回数	学習課題	学習内容	方法	自己学習の指針
1	オリエンテーション	講義: 手話を始めるにあたって 実技: 挨拶・色	講義 演習	挨拶の復習
2	耳の仕組み	講義: 聞こえの仕組み 実技: 数・名前の表現		数の復習
3	障害の原因	講義: 障害の原因 実技: 数に関する会話		名前の復習
4	コミュニケーション1	講義: 口話 読話 実技: 家族について		人物の復習
5	コミュニケーション2	講義: 筆談 実技: 指文字		指文字の復習
6	聴覚障害児教育	講義: 「明晴学園」視聴 実技: 趣味・スポーツ	DVD	
7	情報保障について	講義: 「五目ごはん」視聴 実技: 住所	DVD	趣味・スポーツの復習
8	ろうあ運動1	講義: 映画「ゆずり葉」前半視聴 実技: 仕事・将来の夢	DVD	住所の復習
9	ろうあ運動2	講義: 映画「ゆずり葉」後半視聴	DVD	仕事の復習
10	高齢ろう者の介護	講義: 高齢ろう者の支援事例 実技: 手話の感想	DVD	
11	ろう者とのコミュニケーション	演習: ろう者との会話 自己紹介を中心に		ゲスト3人
12	福祉機器・制度	講義: 福祉機器・福祉制度 実技: 医療現場の手話	PC	
13	手話の資格制度	講義: 手話を学ぶ方法 実技: 医療現場の手話2		
14	まとめ	講義: まとめ 医療場面でのろう者の支援		医療現場の手話復習
15	筆記試験 : 手話読み取り試験	試験: 手話の読み取り試験 試験: 試験の解説		読み取り学習
評価方法	筆記試験と読み取り試験による総合評価			
テキスト	「手話のワークブック」 武居 みさ 著			
参考図書文献	「初めての手話」 日本文芸社 「聴覚・言語障害者とコミュニケーション」一橋出版			
備考	手話は視る言語です。音声言語を追い出し、手話を丸ごと覚えるようにしましょう。 まずは、恥ずかしがらずにコミュニケーションを楽しむようにしましょう。			

分野	基礎分野	授業科目	保健体育	
受講学年	1学年 / 前期	単位/時間数	1単位 / 30時間	
担当者資格	体育教師	専門経験有無	無	
学習目標	身体活動を通して、はつらつとした心身を育成すると共に運動、スポーツを行う楽しさや充実感を味わいながら、健康の維持増進や生涯体育について学ぶ。			
回数	学習課題	学習内容	方法	自己学習の指針
1	集団行動の意義	導入・体操	清水町体育館	
2	基礎打ち	バドミントン	清水町体育館	
3	基礎打ち	バドミントン	清水町体育館	
4	試合形式	バドミントン	清水町体育館	
5	試合形式	バドミントン	清水町体育館	
6	試合形式	ソフトバレー or 卓球	清水町体育館	
7	試合形式	ソフトバレー or 卓球	清水町体育館	
8	試合形式	ソフトバレー or 卓球	清水町体育館	
9	試合形式	バレーボール	清水町体育館	
10	試合形式	バレーボール	清水町体育館	
11	試合形式	バレーボール	清水町体育館	
12	試合形式	バスケットボール	清水町体育館	
13	試合形式	バスケットボール	清水町体育館	
14	試合形式	バスケットボール	清水町体育館	
15	試合形式	バスケットボール	清水町体育館	
評価方法	参加			
テキスト				
参考図書 文献				